

育てよう!地域に夢と活力を

第35号
2024年1月



真庭商工会 会報

今号の表紙『森ノナカノカフェ』(落合地区)



～今号の内容～

- P1 【元気事業所のご紹介】
- P2 【会長年頭挨拶、新会員紹介】
- P3 【真庭市長・新庄村長年頭挨拶】
- P4 【元気事業所のご紹介(続き)】
- P5 【真庭SDGs パートナー企業紹介】
- P6~7 【青年部・女性部報告】
- P8 【事業報告、セミナー開催告知】
- P9 【インボイス、電子帳簿保存法の周知】
- P10~11 【まにわの🍷】
- P12 【告知等】



落合地区にある「森ノナカノカフェ」は、廃校となった旧上田小学校をリノベーションした施設「UEDA VILLAGE」内に、2019年にオープンしました。

2021年5月に最初のオーナーさんから現代表者のたにあい ひろみ谷合宏美さんが引き継いで2代目店主として営業されています。

オシャレで優しい味わいの料理やドリンクを楽しみながら、昔ながらの小学校の雰囲気を楽しんでみてはいかがでしょうか。



新年のご挨拶



真庭商工会
会長 大月隆行

新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては令和6年の輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また旧年中は、真庭商工会の事業に対しまして格別のご支援、ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類に移行し、観光飲食を牽引役としてコロナ感染以前の活気が戻りつつあります。一方で、異次元金融緩和、低金利政策による円安が継続する中、ウクライナ情勢の長期化によって石油、石炭をはじめとするエネルギー及び輸入資材の価格上昇が継続しているところに、中東の政治状況が急激に悪化する等、国内外共に先行き不透明な状況が続きました。円安の定着は輸出産業や大企業にとっては大きな利益

創出に繋がっているようですが、中小企業・小規模事業者との業況には大きな格差が生じています。

コロナ禍で疲弊した中で、物価高、人手不足さらにはインボイス制度、改正電子帳簿保存法での事務負担の増加などが重なっているところで、ゼロゼロ融資の返済が開始されました。岡山県商工会連合会は、いち早く岡山県信用保証協会と連携協定を締結し、借換え融資への万全な体制を構築しており、引き続き気を引き締めて取り組む必要があります。

昨年、真庭商工会管内では各地域の花火大会などのイベントが活発に開催されました。そして、コロナ禍や物価高騰による課題克服のための中小企業・小規模事業者への「経営力再構築伴走支援」の強化に取組むと共に、「事業承継」や第三者承継のマッチング支援、「まにわ創業塾」の継続した取組等の創業支援、商工会組織としてのDXの推進と会員へのDX支援、そしてインボイス制度への相談対応に取組んでまいりました。コロナ禍による急激な経営環境の変化で、会員各社の事業継続への経営努力は並々ならぬものがあるものと

推察します。

円安、物価高が継続する中、社員生活を守り、雇用を維持し確保するためにも「賃金給与を上げる」等の一層の経営努力が必要となっております。伴走型支援や新創業のサポートを一層強化し、会員にとって価値を生む商工会として、本年も全力を挙げて努めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いする所でございます。

当商工会は真庭市と連携してデジタル通貨「まにこいん」を推進しており、昨年は登録者が1万2千人を越え、加盟店も225店を超えるご加入をいただいております。そして、真庭市、晴れの国岡山農協及び真庭商工会とで運営している「真庭市産業サポートセンター」の主催で、「循環再生する真庭に向けて、今を知り、未来に進む」のテーマで藻谷浩介氏に3回に亘るご講演をいただいた他、「脱炭素化による新事業創造と地場産業のブランド力強化」のテーマで深尾三四郎氏、「田園都市国家構想と真庭の展開」について御友重希氏に講演して頂きました。特に、藻谷氏の講演では、真庭の持てる潜在力と持続可能な真庭の未来と可能性について力強いエールをいただきました。

令和6年は、甲辰(きのえたつ)

の年回りで「上昇し勢いを増しながらぐんぐんと成長していく年」とのことです。

現在、経済・社会のみならず個人の価値観やその生活においても時代を画する大きな転換期を迎えていると言えます。

真庭商工会は、真庭地域の事業者に伴走し、DX、事業承継、新創業への支援を一層強力に推進するとともに、真庭市、新庄村の行政や関係諸団体との連携を強化しながら、地元経済・産業の発展と持続可能なSDGs未来都市真庭の実現に貢献できるよう精進してまいります。

結びに、皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし、令和6年が素晴らしい一年になりますことを念じまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年も何卒宜しくお願い致します。



新規会員さん紹介 (令和5年5月～9月)

(敬称略)

落合地区

Forest Company メイズ(梶清達也)

織田晃

株式会社ウッドエースト

あお樹園(青木正隆)

刃三(永田侑奈)

久世地区

工房(G3-5)(二宗章)

グリッツ合同会社

金本木材(金本三保)

勝山地区

アイワテック株式会社

Oyatsuya konugi(片山望美)

湯原地区

ほわつふる。(橋本未帆)

真庭水産株式会社

蒜山地区

隅田ファーム(隅田政隆)

岡田茂樹



真庭市長
太田 昇

新年あけましておめでとうござ
います。

皆様方におかれましては、お健やか
に新春をお迎えのことと、心から
お慶び申し上げます。

また、旧年中は市政各般にわたり
深いご理解とご協力を賜り、厚くお
礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症
の感染症法上の位置づけが5類
になり、人の往来が増え、観光地な
どもかつての賑わいを取り戻しつ



新庄村長
小倉博俊

新年あけましておめでとうござ
います。

真庭商工会の会員並びに関係者
の皆様方におかれましては、輝か
しい新年をお迎えのことと心より
お慶び申し上げます。

また、平素より真庭地域の経済・
産業の振興に大きな役割を果たし
ておられることに敬意を表しまし
とともに、村づくりに対し深いご
理解とご協力を賜り、厚くお礼申
上げます。

つあります。しかし、ウクライナ情
勢や中東の紛争など、世界情勢はこ
れまで以上に先行きが不透明な状
態が続いており、国際的な原材料価
格・エネルギー価格の上昇などによ
り、市内の事業者や市民生活は非常
に厳しい状況が続いております。

市としては、本市経済及び市
民生活を支えるために、市内事業者
の皆様や真庭商工会と連携し、「真
庭くらし応援クーポン券事業」、「真
庭おもいやり事業」、「真庭市事業者
エネルギー価格高騰緊急支援事業」
に取り組んでまいりました。今後も
国の動向に注視しつつ、これまでと
同様に真庭商工会と密接に連携し、
迅速な対応に努めてまいります。

また、市と真庭商工会、晴れの国
岡山農協が運営する真庭市産業サ
ポートセンターの取組では、地域課
題に直面する市内事業者の皆様や

市職員、商工会職員を対象に、地域
経済や脱炭素DXの専門的な知見
を持った講師3名を招聘し、計5回
の講演を行いました。今後も、事業
者の皆様にとつて有意義な企画を
提供できるよう検討してまいりま
す。

さて昨年、蒜山地域では、世界的
な建築家の隈研吾氏が率いる設計
事務所が旧レストハウスをリノ
ベーションしたシェアオフィス「蒜
山ひとときをオープンしました。
木材をふんだんに使用し、蒜山三座
をガラス越しに一望できるオフィ
スとなつており、普段とは異なる環
境で多様な人、コトが、自然と出会
い共創が生まれるセレンディビ
ティの場となるよう思いを込めて
います。

さらに昨年からデジタル地域通
貨「まにこいん」の取り組みを行っ

経済対策を行つていきたいと考
えております。

村では、昨年4月より新庁舎で
の業務を開始し、村制施行150
年の歴史に想いを馳せ、気持ちも
新たに小さな村ならではの「持続
する」村づくりへの取組をスタ
トしております。

二酸化炭素の削減等、脱炭素社
会への「木質バイオマス事業」の展
開の第一歩として、村内で出され
る森林資源を活用した薪ボイラー
による新庁舎への熱供給と薪生産
拠点施設の整備に着手いたしまし
た。林業による村内循環型の経済
の活性化と持続可能なエネルギー
の確保に着実に進めていきたい
と考えております。

また、「まち・ひと・しごと総合戦
略」による地方創生事業としては、
村の最終目標の達成に向けた「こ

ています。「まにこいん」は、真庭商
工会をはじめ地域の多様な関係者
がデジタル地域通貨という共通の
テーマの元に集い、様々な地域課題
解決、持続可能な地域づくりを指
す地域を挙げた一大プロジェクト
です。昨年7月には「真庭くらし応
援クーポン券事業」に併せて1世帯
当たり25000円分の「ポイント券」
を全世帯に配布しました。現在の
ユーザー数は1万人を超えていま
す。

また、昨年10月からはAIデマン
ド配車システムを利用した、新しい
乗り合い交通である「ちょいソコま
にわ」の運行が久世・勝山・落合地域
（二部地域は除く）で開始していま
す。真庭市が持続可能なまちであ
るために、持続可能な公共交通シ
ステムは必要不可欠で、「ひと」と「ま
ち」そして「市役所」が相互に支えあ

メノモチ成長産業化事業」の展開
に取り組み、生産から流通・加工を
行う一貫体制の構築に向けたヒメ
ノモチ専用ライスセンターの整備
に着手いたしました。今後、全量買
い取りを視野に入れたヒメノモチ
新加工場の建設等により、農業所
得と地域産業が向上するよう、雇
用の場づくりに順次取り組む計画
です。

さらに本年は商工観光振興への
強化取組として、歴史文化の継承・
ものづくり・宿泊・販売・商業の核
となる団体を集約し、相互に補い
機能強化を実施するための母体づ
くりを行つていく所存です。

本年の干支である辰年は活力旺
盛になって大きく成長し、形がと
とのう年といわれております。引
き続き「自主自立の村で成長し続
けるための村づくり」を基本に、全

い、展開していくちょいソコは、ま
さに真庭市の未来を創る公共交通
システムです。ちょいソコまにわに
ご賛同いただけるエリアスポン
サーも募集しておりますので、ぜひ
応援していただければ幸いです。

今後も真庭市の多彩な資源を活
かし、地域外の関係人口と真庭市民
の皆様の生活をさらに豊かにする
ことで真庭の魅力向上を図り、人や
企業を惹きつける「未来につながる
真庭」、「ひと」が安全で安心して暮
らせる「まちづくり」多彩な真庭の
豊かな生活、真庭ライフスタイル」
の実現を目指してまいります。

結びに、本市商工業の発展を担う
真庭商工会のますますのご繁栄と、
皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申
上げまして、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

世代の方々がお互いを尊重し補い
合つて振興する村づくりを村民と
ともに進めていく所存です。今後
とも真庭商工会のご理解、ご協力
を賜りますようよろしくお願ひ申
上げます。

結びに、貴会のご更なるご繁栄と
皆様方のご健勝とご多幸を心より
ご祈念申し上げます。年頭のご
挨拶とさせていただきます。

